

# FCIM(フロリダ代替医療大学) 研修2016報告

～異国での鍼灸の姿に  
大なる刺激を受けて～



3月14日～25日、米国フロリダ州オーランドにおいて本校の提携校であるFCIM(フロリダ代替医療大学)を中心とした鍼灸研修を実施し、学生および卒業生計7名が様々な見学・研修を行いました。

FCIMにおいては、理事長・校長であるハン先生による筋肉と神経に主眼をおいた鍼灸治療法「テンションポイントセラピー」「ニューロアキュ」や、薬物依存症やアルコール中毒の患者に対する耳鍼「NADA」、アメリカの鍼灸師は扱うことのできる「漢方」等の講義・実技を、参加者は興味深そうに受講していました。さらに大学附属クリニックにおいて学生が行う臨床実習の見学があり、実際の患者に対して問診から治療にいたるまで全て学生が行うのを間近で見ることができました。参加者は脈診をさせてもらうなど貴重な体験をしながら、

日本における臨床実習との違いを感じていたようです。学外においては、FCIM理事長および卒業生が開業・勤務するクリニックでの見学が行われました。それぞれの特徴を活かした内装・設備や治療方法でのアメリカ鍼灸治療の現場を肌で感じながら、参加者は多くの質問をするなど、熱心に見学していました。またプロテニスプレイヤー・錦織圭が拠点としているIMGアカデミー見学も行われ、錦織選手本人がトレーニングを行っている姿を偶然目撃できるなどのサプライズもあり、参加者は改めてスポーツと鍼灸の関わり方を考える機会にもなったと思います。

今回の貴重な体験はきっと参加者が日本の鍼灸を見つめ直すきっかけになり、将来自分が進むべき道を模索する際のひとつの指標になることと思います。(鍼灸学科教員・南方)



## 「モクサアフリカ～小さなお灸で世界を変える!」講演会のお知らせ



モクサアフリカはイギリスの登録チャリティ団体です。日本式の直接灸を、世界で広まりつつある結核・薬剤耐性結核・そしてHIV/AIDSとの複合感染に対する投薬治療の補助療法として、また薬品が得られない世界中の多くの場所で、代替療法として利用する研究をしています。

この秋、モクサアフリカ代表のマーリン・ヤングさんが来日し、ウガンダで行われていた臨床試験と今後の活動計画について講演を行います。

世界中で抗生物質と薬剤耐性の問題が深刻化する中で、直接灸が大きい副作用もなく免疫細胞を活性化することを示すRCTの結果は、今後、注目を集めることとなるでしょう。最新の話題にどうぞご期待下さい(関連記事を鍼灸OSAKA 122号に掲載)。

お席のご予約をお勧めします。メールでkoudoku@morinomiya.ac.jpまでお申込み下さい。

- 講演会タイトル：「モクサアフリカ～小さなお灸で世界を変える!」
- 日時：2016年11月13日(日)午後3時～
- 会場：森ノ宮医療大学 〒559-8611 大阪府大阪市住之江区南港北1丁目26-16
- 入場料：無料(モクサアフリカへの寄付歓迎)
- 主催・お申込み・お問合せ：森ノ宮医療学園出版部 E-mail : koudoku@morinomiya.ac.jp